

令和4年度 第8回 学校運営協議会会議録

学校名	堀之内小学校
記録者	夏村 知栄

開催日時	令和4年12月13日(火) 協議会15:30~16:30
開催場所	堀之内小学校 会議室
出席者(委員)	森校長、峯岸会長、深海委員、島田委員、荻野委員、瀬沼委員、安藤委員、夏村委員
出席者(学校)	佐々木副校長、大澤PTA会長(90周年を祝う会反省会より)
傍聴者人数	0名

【会議内容(報告事項含む)】

- ①峯岸会長より報告
- ②学校の様子
- ③教育調査について
- ④広報誌の内容について
- ⑤その他 90周年を祝う会の反省会

【主な意見】

- ①峯岸会長より報告
 - 雁久二雄さんより病気療養に専念したいのでCS委員を退任したい旨の申し出が会長宛に在った。会長はこれを了承し、校長にその旨伝え、後任等については校長に一任した。
- ②学校の様子
 - ・全体的にコロナが増えてきている。
 - ・区の教育課題研究校について、先生方とどのような形でできるか検討中。
 - ・先生方は学期末の成績や、保護者会について準備中。
- ③教育調査について
 - ・教育調査にCS委員もこの会議後、回答もお願いします。
 - ・アンケート結果について、教育課題研究も交えて、次回、意見交換を行う。
- ④広報誌について 内容確認、スケジュールの確認。
- ⑤その他 90周年を祝う会の反省会
 - ・資料、銀行口座など100周年に向けて、学校に保存して頂く。
 - ・会計監査を終え、会計報告。
 - ・寄付金のうち、10万円を学校の「天空の野原 改修工事費」に寄付。
 - ・PTA積立金からの出費の項目が報告書にないので、明確にする。
 - (各委員・PTAから)
 - ・コロナ禍の中で開催するか、しないか、から検討をはじめ、規模感も決められない状態からはじめ、短い準備期間の中、精一杯の内容でできたのではないかと思います。
 - ・想像よりも多くの卒業生、地域のみなさんにご参加頂き、大規模となった。堀之内小学校が地域に愛されていることを実感した。
 - ・地域への周知がもっとできれば、寄付金や参加者も増えたのではないかと思います。
 - ・主催側の人数が足りなかった為、準備が大変だった。
 - ・人員配置の決定が直前で、人がいなく人員配置が大変だった。保護者として参加したい保護者もいた。どのように参加して頂くかは課題。PTAからは後日、お手伝い頂いた方の反省をまとめて頂く。
 - ・コロナ禍の中、先生方が式典を行い、地域、PTAが協力して祝う会を開催できたことは大変良かったと思う。
 - ・次の100周年はこの教訓を残し、伝えられたらいい。ぜひ、同窓会でお願いしたい。
 - ・100周年に向けて同窓会への連絡体制を検討していく必要がある。
 - ・学校が開催するという事は苦渋の決断だったと思う。祝う会が開催できたことに本当に感謝しています。100周年の時は、準備に2年前から立ち上げる。
 - (校長先生より)
 - 本当に色々ありがとうございました。課題がたくさん残りました。周年行事ができるかどうかから、始まった事から、動き出すのが遅かった。他校の例を見ても、今ある組織を利用し開催する上で、学校、PTA、地域とみんなが集まって、主体になりやらないと開催できない会。コロナ禍の状況なので今回はできませんでしたが、多くの方が来てくださったので、祝賀会のようにフリーで話せる機会が設けられる状況にもどる事を願います。今の状況で、良くできたのではないかと思います。

日時	令和5年1月17日(火) 15:30~ 協議会
会場	協議会：堀之内小学校 会議室